

事務事業名 ごみ減量対策事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：397

施策：	07	循環型・脱炭素社会の推進	財務コード	01040202-02-326
基本事業：	01	5Rの推進とごみ処理適正化	担当部	環境経済部
基本事業の 成果指標	ごみの排出量 ごみの資源化率 不法投棄された件数 分別間違いの割合（収集ごみの混入率）		担当課	環境課
			担当係	環境保全・廃棄物



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民及び事業者			ダンボールコンポスト講座の開催 多量排出事業所に対するごみ減量の指導 ごみの減量、資源化の啓発（広報、団体からの依頼による出前講座） 一般廃棄物再生利用業の指定 フードドライブの実施						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民、事業者がごみの排出抑制及び減量に努める。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
マイバックを利用する市民の割合		%	67.3	69.5	80	80			80
ダンボールコンポスト講座の参加率		%	31.2	93.7	80	80			80
5. コスト									
事業費		計	千円	26	122	9,380	167		
		国	千円		0	0	0		
		県	千円		0	0	0		
		地方債	千円		0	0	0		
		その他	千円	26	122	9,380	167		
一般		千円		0	0	0			
正職員人工数		人工	0.7	0.7	0.7				
正職員人件費		千円	5,471	5,616	5,867				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	5,497	5,738	15,247	167			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		マイバックを利用する市民の割合は、昨年度から2.2%増加し69.5%でした。令和7年1月から可燃指定袋として使用可能なレジ袋（つくしちゃん護美袋）の販売を開始したため、本指標の割合は同程度で推移することが考えられます。 ダンボールコンポスト講座の参加率は、93.7%でした。広報、ホームページの他、SNSを活用することにより参加率が上昇したものと考えられます。また、食品ロス削減啓発の取組みとして、フードドライブを年4回実施しました。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
平成18年2月	筑紫野市ごみ減量推進連絡協議会を設立		レジ袋削減に関する協定が終了し、事業所ごとのマイバック持参率の設定がなくなったため、新たな成果指標として、生ごみを減らすための取組をしている市民の割合を指標として検討中。						
平成20年4月	多量排出事業所の減量計画書の提出を義務づけ								
平成31年3月	レジ袋削減に関する協定を更新								
令和2年7月	レジ袋の有料化								